



# 関東地区 KGK 協力会 NEWS



2020.11 NO.135

巻頭  
言

## 「KGK44年生」

水口 功

東京フリー・メソジスト教団桜ヶ丘教会牧師



私は1976年から1980年までの学生時代にKGK活動に関わりました。今振り返ってみると、この4年間、KGKを通していただいたものは、私にとって信仰生活の土台となり、信仰の視野を広げることができた宝の経験となりました。そして大学卒業後、ちょうど今年で40年が経ちましたが、今までの歩みは、KGKで学んだ数々の事柄の延長線上にあると実感してきました。それゆえ今の私は4+40=KGK44年生です。今回、KGKへの感謝の思いを込めて、特に学生時代に学内活動を通していただいた恵みをお分かちします。

入学後に私が入会した当時の上智大KGKは、グループができてからまもない頃でしたが、DPM(例日祈祷会)が数名の先輩たちによって守られていました。私もDPMに参加することによって、次第に祈りが生活化していきました。短い時間でも毎日集まって祈りあう仲間が同じ学内にいたことは、日毎に霊の力を得る源泉となりました。今年の新年、奉職している教団の聖会に、講師としてお招きしたS兄は、4年間DPMでいっしょに祈り合った友でした。S兄の聖会でのメッセージを目の前で聞きながら、かつて授業開始前の空き教室で、彼とともに将来に

ついても祈りあった場面が急に思いだされ、感慨がひと潮でした。また学内での「生きた交わりを通しての伝道」を目指したセルグループ(スモールグループ)活動を通して、大学3年から4年にかけて、4人の未信の友の救いに立ち会うことができました。そのことは異教の国、日本での伝道の働きに携わっていく上で、大きな励ましとなりました。そして学内活動は、主イエスと教会から派遣された地での働きであることを体験できた機会でした。3年前のKGK70周年記念のテーマが「遣わされた地で福音に生きる」でしたが、学内活動でその本質を学べたことが、その後の40年間、遣わされた場はいくつかわらっても、変わらない指針となっていると思います。

今年度から、KGKのGAとして奉仕を始めた郷崇治兄は、現在私が牧会をしている教会の会員です。最近では郷GAを通してKGKの様子を聞かせていただく機会が増えています。私は彼にKGKにおける学内活動の恵みを分かちあいながら、コロナ禍に置かれた現状でも、KGKスピリットが途絶えることなく継承されていくことを懇願しております。

# 「神様の計画を 躊躇せずに行いなさい」

松尾 結実

(日本大学1年/東大和純福音聖書教会)



「神様の計画を躊躇せずに行いなさい。」ある牧師先生が  
按手して祈る中で私に掛けて下さった一言は、K G Kに参  
加する以前の私には理解し難いものでした。教会に忠実に  
通うこと。どんなに忙しくても聖書を毎日開くこと。自分  
自身にクリスチャンとしての義務を課し、それに沿って  
日々歩んでいた私は、その一つ一つをきちんと果たしてい  
るつもりでした。それでも何故かあの言葉が、度々思い出  
されるのです。

2020年春。コロナで未曾有の状況のなか大学1年生と  
なった私は、池袋ブロック、そして日大K G Kに導かれま  
した。パソコンの画面越しに笑顔で迎え入れてくださった  
先輩方は、それほど歳が変わらないにも関わらず、見た目  
も、考え方も、どこか大人に思えました。それは信仰面  
に関しても同じで、福音のためのイベントを学生主体で準備  
したり、私の祈祷課題を心に留め「あの後どうなった？」  
と質問してくれたり…。喜んで人と神とに仕えるその姿に、  
律法主義的に“しなければならぬ”という動機で仕えて  
いた私は、大きな衝撃と共に励ましを受けました。本気で  
神様を愛する同年代の姿に感化され、神様に仕える喜びを  
祈り求めるようになっていった頃、私は信仰の試練に入れ  
られていきました。不安や葛藤が心の中にいつもあり、オ  
ンラインでK G Kの活動に参加している時の、順調に信仰  
生活を歩んでいるように見える自分と、パソコンを閉じた  
後の自分とのギャップに悩まされる日々が続きました。そ  
のような状況の中、一縷の望みを抱いて参加したNET (全  
国学生訓練会)。その3日間で私は、神様の大きな計画の  
一部を知ることとなりました。私が参加したストランド1  
では、兄が講師を務めていました。分割された画面に映さ  
れる、参加者や全国の主事の方々は、時に柔らかい笑顔で、  
時に真剣にメモを取りながら、講師の話に耳を傾けていま  
した。神の家族が兄を通して神様を見上げる姿を見た時、

私は、主の御心と計画を求め歩んできた者がどのような祝  
福を受けるかということを見せられた気がしました。歳が  
離れていたからこそ、またオンラインだったからこそその気  
づきであることを思うと、生まれた環境や未曾有の状況さ  
え全て益となることに感謝が溢れます。

また、翌々週に参加したChallenge Campは、「神様の  
計画を躊躇せずに行いなさい。」という祈りを実践する場  
となりました。キャンプの最終日に証大会と呼ばれるプロ  
グラムがあり、グループのメンバーと神様に背中を押され  
た私は、そこで証することを決心しました。「私以外に、もっ  
と相応しい人がいるのではないだろうか…」と不安を抱え  
ながらの準備でしたが、その過程も当日も神様の支えと守  
りがあり、恵みを数える時となりました。証を終えた後、  
私はようやくあの祈りの意味が分かったのです。計画を妨  
げようとする不安や葛藤は、神様から見れば取るに足らな  
いものであること。それ以上に私の可能性を知り尽くして  
おられ、「あなたならできる」と任せてくださっていること。  
一步を踏み出せば必ず、主からの守りと祝福が注がれるこ  
とを、私は知りました。キャンプでの学びと経験を得た現  
在は、池袋ブロックオンラインデボーションの発起人を先  
輩と共に務めています。この証を執筆させて頂いたこと  
を含め、新たなことが一つ、また一つと任せられる毎に、神  
様の導きとその計画の大きさを感じます。全ての経験の意  
味が生きている内には分らずとも、主の御前で伏線回収  
される日が来ることに期待し日々私なりのベストを尽くし  
ていこうと思います。これからの歩みが守られるよう、お  
祈りいただけると幸いです。

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って  
召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして  
下さることを、わたしたちは知っている。」(ローマ人への  
手紙 8:28)

# 私たちのうちにある 神の力

関東地区 GA 郷 崇治

(東京フリー・メソジスト教団 桜ヶ丘キリスト教会)



私は、学生時代に KGK からたくさん恵みを受け取らせていただきましたが、卒業後も今年の4月から GA (Graduate Assistant) として仕えることが許されたことに、心から感謝しています。KGK が大切にしてくれているスピリットの根幹は「遣わされた地で福音に生きる」です。日曜日だけ神様と繋がるのではなく、家でも学校でもアルバイト先でも、どんな時にもクリスチャンとして生きていくことを、学生たちに励ましています。

今年の夏、関東地区は2つのオンラインキャンプを行いました。両方とも60人以上の学生が集い、参加者の多くが「非常に良かった」という感想を残してくれています。オンラインでも神様が力強く働かれることを実感しました。私が参加したチャレンジキャンプでは、学生たちが、自分自身を責める思いや人との比較から解放され、十字架によって自らの救いが既になされているという事実をしっかりと受け取っていました。大切な土台が根付いていっていることを感じます。

一方で、学生のほとんどは福音に生きていくことに大きな葛藤と難しさを覚えています。デモンションを続けられない、奉仕を喜んでできない、人の目を恐れてしまう、人を愛せない、伝道に踏み出せない…。学生との交わりの中でこういった悩みを聴くことがしばしばあります。正直に自分の葛藤を分かち合ってくれることに励まされると同時に、何とか助けになれないか、と心が痛みます。私たちは終わりの日まで完全にされることはなくても、より力強く神様に喜ばれる歩みができるように変えられることはきっとできるはずです。そうなるためにはどのような励ましができるのか、考えさせられ続けています。

一つ思わされているのは、福音に生きることに困難を覚えることの大きな原因が、自分自身を過度にネガティブに見てしまい、神様に与えられている力の大きさを認識し切れていないところにあるのではないかと、ということです。私たちは救われた後もしばしば、自分を本質的に「全然だめな人間」、罪や失敗ばかりを続けてしまう弱者と見なさないでしょうか。徐々に主の似姿に変えられるとは知っていても、一つ一

つの課題から自分が実際に解放されていくことがイメージできないかもしれません。むしろ、一生同じような葛藤を続けるのだろう、と諦めてしまう場合も多いでしょう。

しかし、「福音の豊かさを知る」という使命を持つ KGK で働く者として、学生たちにみことばの真理を知ってほしいと思います。聖書では、クリスチャンのことが「罪人」と呼ばれている箇所はほとんどなく、むしろ「聖徒」「神の子」「光」「選ばれた者」などと、非常に榮譽ある呼称が与えられています。救われた私たちは、多くの罪や失敗を犯すものの、そうすることが本性ではないはずなのです。良い行い・神様の栄光を現す生き方をするためにこそ召されており、そう生きることが自然状態である存在だと思うのです。そして、神様はその生き方ができるように必要も備えてくださっています。第二ペテロ1章では、徳や自制、愛などを加えて成長することが励まされていますが、その前の3節に「主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました」という言葉があります。つまり、諸々の罪から変えられるために十二分な神の力が私たちのうちにある、ということです。そうであれば、どんな罪や課題と向き合う時にも、信仰によって、結果は見えているはずで、弱い自分には勝ち目がないと、罪との戦いを諦めるのではなく、神の力による勝利の確信を持って「福音に生きる」ことに取り組むことを、学生たちに励ましたいと思います。

とはいえ、私自身決して順風満帆な半年ではなく、個人的な罪との葛藤、それぞれの学生と関われる時間の制約から感じる無力さ、心身の長期にわたる疲労など、様々な弱さを覚えてきました。しかし、「わたしの力は弱さのうちに完全に現れる」(1コリント12章9節)と言われる主にすがり、何とか平安のうちに歩ませていただいています。ここでも、どんな状況でも喜びをくださる神様、そして弱く無力な中でも、私を用いて、あるいは自分の直接関わっていないところで、大きな御業をなされる神様の御力に期待することを教えられています。

## 2020 経過報告 ('20 年 1 ~ 9 月) 単位 : 円

収 入				支 出			
項 目	20 年度予算	20 年 1-9 月	達成率	項 目	20 年度予算	20 年 1-9 月	達成率
教会献金	16,000,000	9,796,694	61%	全国分担金	15,277,501	11,043,526	72%
卒業生献金	20,000,000	15,109,495	76%	人件費	22,132,431	15,512,371	70%
賛助献金	5,000,000	3,023,870	60%	法定福利費	1,523,398	1,212,387	65%
学生献金	1,100,000	563,458	51%	福利厚生費	1,791,307	1,213,807	66%
奉仕謝礼	1,100,000	752,017	68%	主事活動費	3,086,000	935,186	24%
その他の収入	600,000	35,019	6%	通信費	1,511,200	803,093	53%
				会議費	340,000	4,821	1%
				外注費	211,000	174,059	72%
				支払事務所費	607,668	356,254	59%
				消耗品費	100,000	47,304	47%
				水道光熱費	70,000	55,983	80%
				支払手数料	400,000	344,656	86%
				修繕費	54,200	3,300	6%
				備品	10,000	0	0%
<b>合計</b>	<b>43,800,000</b>	<b>29,280,553</b>	<b>67%</b>	<b>合計</b>	<b>43,800,000</b>	<b>29,280,553</b>	<b>67%</b>

●献金 : インマヌエル高津キリスト、おざく台キリスト、かもし聖書、キリスト教たんばば、キリスト教朝顔、シアターチャーチ、シオンの群、シオンの群森の上キリスト、シオンの群中野キリスト、ジャパニーズゴスペルチャーチ、シャローム福音、たまプラーザ・キリスト、つつじヶ丘キリスト、ぶどうの樹キリスト、みなみ野キリスト、みよし福音キリスト、めぐみの丘チャペル、めぐみ、ヨハン東京キリスト、衣笠中央キリスト、井土ヶ谷キリスト、宇都宮聖書バプテスト、浦和福音自由、浦和別所、栄聖書、KPCA 横浜キリスト、横浜キリスト福音、横浜シオン・キリスト、横浜永谷キリスト、横浜金沢文庫キリスト、横浜山手キリスト、横浜白山道、横浜緑園キリスト、荻窪栄光、桶川福音自由、蒲田シオン、茅ヶ崎シオン・キリスト、久遠基督、久我山キリスト、久喜福音自由、久留米キリスト、釧路キリスト福音館、軽井沢キリスト、御影神愛キリスト、御徒町キリスト、更生、甲府キリスト福音、行田カペナント、国分寺バプテスト、鷺沼キリスト福音、桜ヶ丘キリスト、札幌キリスト宣教会美しが丘グリーンチャペル、姉ヶ崎キリスト、篠原、主都福音キリスト、取手キリスト、十日市場めぐみキリスト、渋谷、春日部福音自由庄和会堂、所沢聖書、勝田聖書、小竹向原キリスト、小田原荻窪キリスト、松見ヶ丘キリスト、沼津港町、湘南のぞみキリスト、上作延キリスト、上大岡聖書、上田福音自由、新松戸福音自由、秦野詩音キリスト、菅キリスト、菅生キリスト、世田谷中央、清瀬福音自由、生田丘の上キリスト、生望バプテスト、聖インターハートチャペル、聖蹟めぐみキリスト、西国分寺、西船橋キリスト、西堀キリスト福音、青梅キリスト、青葉台、千歳烏山光の子聖書、宣教、川越聖書、川越福音自由、川口中央福音自由、川崎チャペル、前橋キリスト、相原キリスト集会、草加、草加福音自由、多摩ニュータウンキリスト、多磨、大磯キリスト、大間々キリスト、大野キリスト、谷村、池の上キリスト、筑波キリスト、中山キリスト、中野島キリスト、長津田キリスト、鶴ヶ島聖書、都賀キリスト、東京フリーメソジスト小金井、東京若枝、東京聖書学院、東京聖書、東京武蔵野福音自由、東松山福音、東村山キリスト、東大宮福音自由、東大和刈穂キリスト、藤沢福音自由、那珂湊キリスト、二宮山西キリスト、杉並、馬橋キリスト、白岡福音キリスト、白根福音、鳩ヶ谷福音自由、百合ヶ丘バプテスト、浜田山キリスト、武蔵台キリスト福音、仏子キリスト、平塚福音キリスト、片柳福音

自由、保守バプテスト津田沼、豊田キリスト、麻溝台キリスト、麻布霞町、流山福音自由、練馬神の、蕨福音自由、OMF the Chapel of Adoration (138 教会) シオン・キリスト教団、東京カペナント日曜学校

●賛助献金 : Andrew Bettencourt、Dan Stringer、Janna Louie、Lydia Lockhart、Martin Ho、Matthew Meyer、Michael Harbert、Patrick Kao、Robert Balfour、Robert James Balfour III、Sean McCarty、Wen William、ウィリアム・ペティート、エステル・ブイ、スピノリチャード、ロザンヌ・ジョーンズ、瀧元高子、安藤賢吾、伊藤正教・和子、稲葉滋、永澤良子、英勇・仁子、市川博康、奥津栄子、横川清子、下村聖実、会田比呂史、会田萌夢、亀田昌芳、吉田博・潤子、吉澤昭男・由美子、久保田清香、宮基久美、宮崎弘子、宮池朋子、郷陽子、桐生真由美、近藤実和、金正賢、窪倉透・直子、桑田奈奈、原雅幸・こすも、古川みとエライア、戸塚雅昭・祝、光菜英生・ゆかり、荒井香織、荒木さおり、佐藤摂子、佐藤三恵、佐野弘枝、左近豊、砂川はるか、細谷深、三井末子、三上如子、山口愛、山口真里佳、山口雄介あゆみ、山根美子、山内真澄、山本浩太郎、山本真弓、市川秀樹、市来竜哉、紙野賢美、秋本隆二、小室真、小川ふかみ、小倉佳浩・直子、小倉直子、小奈毅彦、小林恵美子、小林詩音、小林清巳・純子、上野文、城倉由光、植村公美子、森田恵、深谷美歌子、真侍ダニエルウォング、水口聡・恵、相森賢児、菅野智慧蔵・シゲ子、西山菜美子、石山真由美、川崎紀巳子、川上武敏、浅海啓一、相沢京子、大橋康子、大山晴美、大西邦嗣、大野君枝、中久木貴・明香、長岡淳三・幸枝、長尾真由美、長尾卓美、陳頌妍、塚本謙一郎・雅子、田口りえ、渡辺忠、島田真祈子、東悦子、湯浅和代、藤原理恵子、藤本満・圭子、匂坂太一、白石善彬、飛田成史・紀代美、樋口史憲、浜田良夫、伏見美恵子、福澤正章、米森里美、米田麻子、片桐征子、峰岸大介、朴清民・真理恵、堀野路都、本多慶子、万年周子、名越恭子、木村光信・ゆかり、木村裕之、木村理恵子、木田みのり、木内雅仁、野口依子、矢口風香、矢代号・由有、齋藤由美、高橋正義・和子、フカセコウタ、ミカミタカヒロ・ナオコ、日本福音自由教会神奈川教区伝道委員会、東京 NCF、東京キリスト教学園、奥多摩青年修養会、株式会社ノア、EMF、JCFN、匿名 4 人 (166 名※夫婦は 2 名として数えています。)



KGK SINCE 1947 KANTO

# 主事会 News

NOV, DEC, JAN, 2020

## オンラインでも対面でも形成される 人格的交わり

いつも関東地区の学生たちのために、そして主事会のためにお祈りいただき、心より感謝致します。関東では新型コロナウイルス感染症の流行は続いています。感染対策を行いながらの小規模での対面の交わりを少しずつ再開しています。主事会でも、発送作業は対面で行い、また10月には感染対策が徹底されているという判断から、奥多摩ハイブルシャレーにて一泊の合宿を行うことができました。対面での交わりは、本当に楽しく、また豊かなものでした。

私たちがこの1年間経験してきたことは、たとえオンラインであったとしても、KGK運動が大切にしてきた人格的交わりは形成され、学生たちの救いや成長が起こるのだということでした。オンラインであることによって、地理的な制約を超え、特に遠方のブロックから地区活動に参加する学生が増えていることは大きな喜びです。10月の世界宣教月間にもたれた各集会には、全国から、あるいは全世界から参加者が与えられました。しかし、対面の交わりが再開されたときに気づかされたのは、同じ場所で時間を過ごし、交わりをもつということには、特別な喜びがあり、より深い人格的交わりが形成されるということでした。

いよいよ12月がやってきます。各学内・ブロックでもたれるクリスマス集会には、毎年多くの未信者学生が参加します。今後の流行状況によって変わり得ますが、対面での実施が検討されている集会もあります。もちろん、規模が大きかったり、メンバーが実家にいたりする場合には、オンラインでの開催となりますが、オンラインでも対面でも、そこに人格的交わりが形成され、学生たちが救われ、全生活・全生涯で証しする者たちへと変えられていき、この困難な時代にキリストの教会が建て上げられていくことができるように、引き続き覚えてお祈りください。

文責：塚本 良樹（責任主事）



## schedule

- 11/28 職域エキスポ
- 12/5 関東地区総会
- 1/18 協力教職者の会

# 主事・GAの近況報告



私は学生時代に1年間カンボジアに行っていた影響もあり、寒さにとっても弱いですが（もともですが、帰国後にさらに弱くなりました）。その意味ではこれからの季節、オンラインでの働きができることは少しありがたい気もします。それでも寒さに負けず、学生に対面で会う機会が持てたらいいなあ、と願っています。今後の状況は分かりませんが、対面でもオンラインでも、引き続き学生との交わりを大切にしたいです。



石川 麻美  
神奈川BAY



郷 崇治  
小田急線

リモートでの働きが続きます。長時間家にいるストレスはありますが、派手に動いていなくても自分は主のエキサイティングな計画と闘いに参加させていただいているのだと思うと、力と情熱が湧いてきます。運動不足解消のためのサイクリングや、休日に近所の温泉に浸かることがリフレッシュになっています。10月からは、学生や友人とのZoom朝デブーションを始めました。オンラインの良さを活かせるのでお勧めです！

いつもお祈りいただき、ありがとうございます。保育園の選考に落ち、娘が待機児童でしたが、来年の4月から入園できることが決まりました。ライフステージに見合った働き方を模索し、葛藤する日々ですが、少しずつ状況も整えられていること、感謝です。先月は宿舎にも挑戦でき、嬉しく思うと共に、自信にも繋がりました。まだまだ手探りの状態ですが、神様の確かな導きに信頼し、ふさわしい働き方を見出していきたくと願います。続けてお祈りいただければ幸いです。



中川 麻祐  
副責任主事  
神奈川BAY



ケリー・チャン  
中央線・山梨

朝の散歩を続けることで、健康な生活リズムを取り戻しました。ハレルヤ！いろいろなお花が咲いているのがかわいくて、写真を撮るのも楽しんでます。最近は雨が降ったり急な気温の変化もあり、朝早く起きれない日もあります。そういう時は違う時間帯に散歩をし、景色の違いを楽しみます。これから寒くなりますが、健やかな生活を続けられるように頑張ります！

来年度から全国卒業生会担当に異動することとなりました（責任主事は吉澤副総主事が兼任します）。物理的には関東にいますし、関東地区卒業生会担当を兼任するため、引き続き関東地区との関わりはありますが、全国のKKG運動に仕えることが私の第一の使命となります。KKG運動に連なる学生たちが、卒業後、会う頻度が低くなったとしても、全生涯に渡ってKKGスピリットに生きることへと押し出される交わりを、他の卒業生たちと共に形成していきたいと願っています。



塚本 良樹  
責任主事・渋谷



島田 祐也  
お茶の水・国際

最近感情をことば化するのを大切にしています。怒っている。悲しい。傷ついた。疲れている。自分の状態に気づかずに、感情のままに反応するのではなく、感情に気づいて応答する訓練の大切さを思わされています。10月は世界宣教月間で、神様のみわざを見てたくさんの喜びを経験するとともに、深い疲れを覚えました。感情に支配されることなく、けれども無視せず正しく治めていく知恵と術を身につけていきたいです。

なんだかいろんなことに追われている今日この頃です。KKGの奉仕が終わったかと思えば、教会での奉仕があり、それが終わったと思ったら、神学校の課題に奮闘する、という一週間のサイクルです。唯一の楽しみはと言えば、毎週の妻とのカフェ巡りです。息子を幼稚園に送ったあと、午前中にデートしています。いろんなものに追われながらも、ホッとできる瞬間となっています。コマダのモーニングサービスが一番良さ。



城間 創  
神奈川BAY・群馬・信州

9月に30歳の誕生日を迎えました。年々学生との年齢差は開き、コロナ禍で直接会うことが難しい状況…なんだかどんどん学生と遠くなっていくような寂しさを感じることもありましたが、そのように悲観するのは的外れだなと考え直すようになりました。それは、コロナ禍というマイナスに思える状況の中で、豊かな創造力と主体性を発揮する学生の成長を目にすることができたからです。働きの中で、時に焦ったり落ち込んだりすることがありますが、「今」共にいてくださる神様に信頼し、学生を信じ、小さな一歩を忠実に積み重ねていきたいと思われています。



塚本 寿子  
小田急線・多摩



小林 祐  
渋谷・中央線

今年もクリスマスが近づいて参りました。未だにパソコンの前にいることが殆どですが、最近では「音声読み上げ機能」や「音声認識による文字入力機能」が使いやすく、目も疲れないので重宝しています。10月には24歳の誕生日を迎え、1年を振り返る時与えられました。生活がガラッと変わった年でしたが、新しい経験が与えられてきたことに感謝です。この1年は、責任感と知恵が増し加えられ、主の前に歩んでいきたいです。

まだまだオンライン生活を続けています。学内グループ活動、ブロック祈禱会・役員会はオンラインでやっています。今年度はエペソ人への手紙から「キリストにあって」というテーマについて学生との学びをしています。2節の「キリストにあって、天上にあるすべての霊的祝福」をもらったという御言葉から励まされています。オンラインの生活の中にある学生のために祈りをありがとうございます。



ネイサン・クラップハム  
ちば・茨城・お茶の水



山形 宣洋  
副責任主事  
池袋・伊勢崎線・栃木

正直な告白をします。我が家にはゴキブリが沢山です。年間10匹は家の中で見かけるのです。しかし、自分で言うのもおかしな話ですが、家の中は割と綺麗にしています。神学生の時から、「朝起きて掃除をする」という習慣が身につけているのです。色々対策を試みたのですが、相変わらず「奴ら」はやってきます。最近では対策を諦めて、「奴ら」と共存することが、「僕の生きる道なのかな〜」なんて思っています。もしかしたら「奴ら」は、僕のことが好きなのかもしれません。

Zoomで参加する礼拝、合宿、祈禱会が当たり前の中、まだ一度も対面で会うことができていない学生との学び、交わりが深まり、ずっと会っていないシドニーの家族や友人との繋がりもオンラインで保ち続けられていることに感謝です。シドニーへの一時帰国を願っていますが、日本から出ることも、オーストラリアに入ることも、日本に再入国することもハードルが高く、全てを神様に委ねつつ一つ一つクリアしたいです。これは人生のチャレンジも同じ？



デットレフス紀子  
お茶の水・渋谷

### KGK主事・CCCスタッフ合同祈禱会



メルマガで宣教報告を毎月受け取りませんか？  
ご登録は下のQRコードからどうぞ！



遣わされた地で福音に生きる

# お祈りください

## ブロックの働きのために

### 池袋

(山形)

12月18日(金)に、未信者大歓迎のクリスマス会を行います。おそらくオンラインで行うと思いますが、未信者の学生たちがイエス・キリストを知る機会として、このクリスマス会が大いに用いられるように。

### 伊勢崎

(山形)

12月22日(火)に、未信者大歓迎のクリスマス会を行います。準備を担う役員一人ひとりのために。また、一人でも多くの学生が参加して、主イエスの誕生を心から祝う時となるように。

### 茨城

(ネイサン)

来年度の役員依頼が厳しい状況ですが、ふさわしい役員が立てられ、ブロック活動を続けていくことができるように。各学内の活動が御言葉によって励まされ、力づけられるように。

### お茶の水

(島田)

オンライン生活が続き、学生たちが疲れています。学内活動に参加する学生も少しずつ減っていて心配です。キリストにあって耐え忍び、集まって互いに励まし合い続けられますように。

### 小田急線

(塚本寿)

コロナウイルスの影響で活動がオンライン化したことで、東京農業大学、玉川大学、専修大学の活動が休止している状況です。ふさわしい形で主にある交わりを築いていくことができるようお祈りください。

### 神奈川BAY

(城間)

ブロック祈禱会は10人前後の参加者ながらも、交わりが深まっており、とても良いです。後期の活動の祝福のために。また、次期役員が決まり、継承していくことができるように。

### 群馬

(城間)

毎月のブロック祈禱会は5~6人ではありながらも、和気藹々と活動し、共に祈りあっています。学生たちが、遣わされた群馬の地において、福音に生きることができるよう。

### 渋谷

(小林)

GGS (学内にグループ活動がない人のための聖研) のために。後期はマタイの福音書からイエス様のたとえ話を学んでいます。福音の豊かさを知る交わりがこれからも続くようにお祈り下さい。

### 信州

(城間)

毎週、黙示録から聖研をしています。悪戦苦闘しながらも、毎回、教えられることがあり、聖書の奥深さを実感しています。主にある交わりを楽しみながら、活動を続けていくことができるように。

### 多摩

(塚本寿)

帝京大学、中央大学、明星大学、東京都立大学、東京薬科大学、工学院大学、日本工学院八王子専門学校に与えられた新入生が、今後もオンラインでの学内活動に繋がり、主にある交わりを通して成長していくことができるように。

### ちば

(ネイサン)

与えられた一年生が引き続き活動に繋がることできるように。新型コロナウイルス感染症の流行が収束し、祈禱会、聖研を実際に会う形でできるように。

### 中央線

(ケリー)

各学内やブロックのクリスマス会のために。学生たち自身がこの機会を用いて友人を誘えるように。またブロック役員の働きのために。神様の御心であるブロック新役員が立てられるように。

### 栃木

(山形)

しばらく活動をもつことができていません。祈りつつ活動再開を模索している段階ですが、学生一人ひとりの生活が支えられて、それぞれの地域教会の交わりを通して、信仰が育まれていくように。

### 山梨

(ケリー)

後期の活動も祝されるように。ブロックや学内のメンバーが互いに励まし合い、祈り合う交わりになるように。新しい仲間が与えられ、すでにいるメンバーが定期的に参加できるように。

## 全国の働きのために

### 総主事 (矢島)

主事・GA38名の霊性、健康、家族が守られるように。KGKが70周年から80周年(2027年)、またその先に進む上での方向性が与えられますように。

### 事務局 (油木)

出勤と在宅勤務を組み合わせる業務にあたっている事務局主事の霊肉が健やかに保たれ、任された責任を全うできるように。決算作業に向けてふさわしく備えることができるように。

### 学生宣教局 (吉澤)

2021年1月27~29日に開催される責任主事会のために。今回はオンラインになります。各地区の責任主事が集まり、説教演習など主に研修の時を持ちます。良き学びと交わりのために。

### 国際 (鎌田)

10月のWorld Student Day等、IFESの交わりを体験する機会を感謝。引き続き、神様の世界的なビジョンに触れられるように。留学生たちが日本の教会やKGKの交わりに加わることができるように。

### 卒業生会 (小川)

11/28(土)に持たれる職域エキスポが、主にあって働くことを励まし合う良い時となるように。各職域別祈禱会の取り組みが祝され、神の御国が広げられていくように。